

大会名称： 第54回関東中学校バスケットボール大会

開催場所： 船橋アリーナ

A コート

試合区分： 2回戦

期 日： 8月8日 クォーター 根本 優 (茨城)

開始時間： 13:30 1st 7分 17 平山 智章 (栃木)

終了時間： 15:15 2nd 7分 17 小野里 健太 (群馬)

実践学園中学校					○					●					横浜市立十日市場中学校				
東京					79					55					神奈川				
NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F				
4	*	山本 権真	11		5	1	2	0	*	森谷 知輝	8		3	2	2				
5	*	古田 陵介	3		1	1		2		逢坂 颯	-								
6	*	守谷 真	4		2			3		泉 虎太郎	-								
7		須貝 頼勇	9		4	1	1	5	*	佐藤 柊太	5		2	1	4				
8		荒良木 開登	2		1			7		岩本 凰我	-								
9	*	堀毛 鼓太郎	4		2			10		神谷 雄星	-								
10		細田 琉仁	5	1	1			11		田中 善珠	-								
11	*	黒田 健斗	22	2	7	2		12		田井 煌太郎	-								
12		荒木 基晴	4		2			17		勝俣 諒大	0				2				
13		高野 創也	4		2		1	20		松原 冬芽	-								
14		田中 泰誠	2		1		2	24	*	玉城 虎慳	16		8		3				
15		鹿野 舜晴	0				2	28		平出 嵩	-								
16		江良 保翔	0					30	*	中村 玲音	6	2							
17		芹田 陽生	9		3	3		70		望月 智史	-								
18		日浦 陽斗	0					91	*	川島 花海	20	3	4	3	1				
コーチ 森 圭司								コーチ 平野 雄大											
A・コーチ 坂田 玲磨								A・コーチ 渡邊 星矢											
合計			79	3	31	8	8	合計			55	5	17	6	12				

S:スターター PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファール

関東大会2日目、東京都代表実践学園中学校と神奈川県代表横浜市立十日市場中学校の一戦。互いにオールコートディフェンスで始まる。序盤から実践学園はディフェンスのプレッシャーを強め、十日市場のミスを誘発する。1Q開始3分で十日市場はタイムアウトをとり、修正を図る。実践学園はその後も#11黒田がゴール下を支配し、一気にゲームの主導権をにぎる。十日市場は#91川島を中心にドライブで得点を狙うが、実践学園の堅実な守りと、個々の得点力が十日市場を苦しめる展開となる。1Qは27-9で終了。2Qに入り、実践学園のリバウンドによる得点が増え始める。十日市場もオールコートディフェンスのプレッシャーを強め、流れを引き寄せようとする。積極的なオフェンスリバウンドも増え始めた十日市場ではあったが、実践学園が大量リードで余裕をもった戦いぶりで前半終了。

後半に入り、互いにディフェンスのプレッシャーがさらに強まる。十日市場は速い展開で積極的にシュートを狙い、点差を縮めようとする。しかし、実践学園はメンバーチェンジの選手がリバウンドに飛び込み主導権を譲らない。4Q、運動量が落ちない実践学園が攻守で躍動する。十日市場もドライブや3Pで得点を重ね応戦するが、実践学園が終始圧倒する展開であった。79-55で試合終了。

実践学園が力で勝った試合だったが、果敢に戦った十日市場の粘りも称えたい。

大会名称： 第54回関東中学校バスケットボール大会

開催場所： 船橋アリーナ

Bコート

試合区分： 2 回戦

期 日： 8月8日

ル-チ-フ

大川 尚

(千葉)

開始時間： 13:20

1st 7th 47

伊藤 洋揮

(千葉)

終了時間： 14:48

2nd 7th 47

横山 崇斗

(千葉)

宇都宮市立一条中学校								春日部市立豊野中学校							
栃木								埼玉							
● 46								○ 68							
13 -1st- 21															
4 -2nd- 16															
15 -3rd- 20															
14 -4th- 11															
-0T1-															
-0T2-															
-0T3-															
NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		岩井 宗一郎	-					51		小野 湊	-				
5	*	廣瀬 颯志	0				3	52		加藤 遼真	0				1
6		馬越 千里	-					53	*	衣川 矜偉	2		1		1
7		川俣 真己	-					54	*	笹山 凜太郎	25		11	3	3
8	*	福崎 成絆	4		2		1	55		竹内 鷲	4		2		
9	*	鈴木 正宗	2		1		3	56	*	竹内 琉空	10		5		
10		永井 大雅	-					58		水口 大梧	0				1
11		片山 恵依	-					59		水口 凜太郎	3	1			
12	*	星野 晃弘	12		6			62	*	飯島 橙生	3	1			1
13	*	富澤 瞭	28	1	9	7	1	70		アイクソイ マーカス	4		2		3
14		大谷 直哉	-					72		加藤 埜蒼	2		1		1
15		服部 祥士	-					75		栗原稜生	0				1
16		西山 拓真	-					76		高橋 拓人	2		1		2
17		馬場 仁哉	-					77	*	武田 直	13		6	1	
18		蒲 俊太郎	-					78		永瀬 璃空斗	0				1
コーチ 高橋 涼太								コーチ 田中 英夫							
A・コーチ 半田 綾香								A・コーチ 吉村 充							
合計			46	1	18	7	8	合計			68	2	29	4	15

S:スターター PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファール

2回戦、一条対豊野。一条はハーフコートマンツーマン、豊野はオールコートマンツーマンでスタート。一条は#12星野、#13富澤を起点としたオフェンス、豊野は#54笹山、#56竹内を中心にドライブやポストプレーで得点を重ねていく。1Qは13-21で豊野がリード。2Qは、一条が出だしから豊野のディフェンスに苦しみ、なかなか得点を奪うことができない。一方、豊野は1Qの勢いそのまま、20点差のリードで前半終了。後半に入っても、豊野はテンポよく#62飯島のドライブや3P、#70アイクソイ、#77武田のゴール下の攻撃で得点を重ねていく。対して一条も#12星野、#13富澤の1対1からリズムよく得点していく。最後まで落ち着いたゲーム運びで試合を進めた豊野の力が勝ったゲームとなった。粘り強く戦った一条の健闘を称えたい。

大会名称： 第54回関東中学校バスケットボール大会

開催場所： 船橋アリーナ

Gコート

試合区分： 2 回戦

期 日： 8月8日

クルーチーフ

山崎 敬次郎

(千葉)

開始時間： 13:30

1st 7th 17

野田 裕介

(千葉)

終了時間： 15:00

2nd 7th 17

照屋 祥紀

(千葉)

中央市立田富中学校								新島学園中学校							
山梨								群馬							
● 57								○ 70							
12 -1st- 12 7 -2nd- 23 18 -3rd- 20 20 -4th- 15 -OT1- -OT2- -OT3-															
NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	鈴木 奏汰	26	4	6	2	3	4	*	植原 煌明	12	1	4	1	1
5	*	早川 陽太	8		4		4	5	*	竹之内 隼	27	1	11	2	1
6		井上 朔至	-					6	*	川瀬 京也	2		1		4
7	*	飯塚 建多	13		6	1	2	7	*	大井 悠輝	11	1	2	4	
8	*	伊良波 ヒデキ	0				2	8	*	安藤 慶人	6		3		2
9		降矢 纏	-					9		井田 蓮	12	3		3	
10		江本 海翔	-					10		中島 雄吏	0				1
11	*	小林 愛翔	10	2	2		3	11		中島 悠人	-				
12		久保 純努	-					12		新井 颯真	-				
13		佐野 大貴	-					13		臼井 琉晟	-				
14		渡辺 圭祐	-					14		鈴木 綾太	-				
15		佐藤 利空	-					15		塚田 武尊	-				
16		品田 紋杜	-					16		小林 康平	-				
18		田村 聖志	-					17		関根 聖成	-				
19		佐野 翠	0					18		春原 竜真	-				
コーチ 清水 湧								コーチ 水井 雄太郎							
A・コーチ			0					A・コーチ 青柳 保志							
合計			57	6	18	3	14	合計			70	6	21	10	9

S:スターター PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファール

立ち上がり、田富はハーフコートマンツーマン、新島学園はオールコートマンツーマンでスタート。両者ともに速いテンポでオフェンスを展開し、積極的にシュートを狙い、ファーストブレイクから得点を重ねていく。ハーフコートオフェンスでは、田富#4 鈴木の1対1、新島学園#4 植原、#5 竹之内のパスワークを中心に展開。残り2分、田富が連続でターンオーバー。新島学園は#8 安藤のインサイドプレーから連続得点、田富は#5 早川の巧みなプレーで繋ぎ、12-12で1Qを終える。2Q、立ち上がり新島学園はペイントエリアからの連続得点、ファーストブレイクから#5 竹之内のバスケットカウントで点差を6点に広げる。田富も積極的に1対1を仕掛けるが得点につながらず、激しいディフェンスから着実に得点を重ねた新島学園が16点差まで広げ、19-35で前半を終える。3Q、立ち上がり、新島学園#4 植原の1対1を中心にオフェンスを展開。#5 竹之内、#8 安藤が献身的にリバウンドに絡みリズムを作る。田富は、トラップディフェンスからファーストブレイクを仕掛け得点を重ねるが、堅実なプレーを続けた新島学園が点差を18点に広げ、37-55で3Qを終える。4Q立ち上がり、田富#4 鈴木の連続3P、合わせのプレーから得点を重ねる。対する新島学園は#9 井田の3P、#6 川瀬のドライブで応戦。田富は#4 鈴木の1対1と激しいディフェンスで必死に追い上げるが、新島学園が最後まで冷静に試合運び、57-70で試合を終える。

大会名称： 第54回関東中学校バスケットボール大会

開催場所： 船橋アリーナ

Dコート

試合区分： 2回戦

期 日： 8月8日

ル-チ-フ

山岸 大輔

開始時間： 13:30

1st アバ 47

岡 龍哉

終了時間： 15:03

2nd アバ 47

星河 聖

八王子市立由井中学校					市原市立ちはら台南中学校										
東京					千葉										
● 63					○ 75										
NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	並木 晴吾	20		8	4	5	4	*	永尾 咲翔	18	1	7	1	4
5	*	三井 龍介	0				0	5		山下 逞翔	-				
6	*	志岐 陽翔	4		2		4	6		森 大成	-				
7	*	鈴木 昇輝	0				2	7	*	平野 佑輔	41		17	7	1
8	*	菅原 颯太	0				0	8		河野 和葉	1			1	3
9		平塚 彪雅	-					9	*	鳥潟 大夢	6	1	1	1	4
10		渡邊 理仁	-					10		内田 光葉	-				
11		吉田 陽亮	-					11		小川 蓮介	-				
12		柴田 祥太郎	-					12	*	高橋 斗音威	3	1			5
13		和田 寛希	39	1	14	8	1	13		米田 悠真	-				
14		山中 一煌	-					14	*	宮田 恒希	6		3		1
15		宇佐美 波輝	0				0	15		崎浜 秀斗	-				
16		石井 一志	0				2	16		長田 結人	-				
17		石坂 正成	-					17		江連 和紗	-				
18		吉川 琉	-					18		川上 虎之介	-				
コーチ 倉光 通公								コーチ 庄村 裕介							
A・コーチ 椿原 大樹								A・コーチ 越後谷 幸太郎							
合計			63	1	24	12	14	合計			75	3	28	10	18

S:スターター PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファール

2回戦、由井対ちはら台南、由井がハーフコート、ちはら台南がオールコートマンツーマンでスタート。先制点はちはら台南#4永尾。ちはら台南は#4、#7平野を中心に、由井は#4並木、#13和田を中心に点を重ねる。互いに果敢にゴールに向かい、19-18で由井がリードして1Q終了。2Q、由井#13が仕掛けるドライブインとステップを上手く使ったシュートが良く決まり、着実に点を重ねる。ちはら台南はオールコートプレスからのスティールが成功し、2Q後半に流れをつかむ。34-33で前半が終了した。後半は開始から拮抗した展開が続く。お互いに体を張ったディフェンス、上手な駆け引きのオフェンスを仕掛ける。残り3分、ちはら台南#7の高さを生かしたゴール下シュートが決まり、3点リードしたところで由井がタイムアウト。タイムアウト明け、ちはら台南#9鳥潟の3Pが決まり、流れをとめない。44-52でちはら台南がリードして3Q終了。4Q、開始1分、ちはら台南#12高橋の3P、#7のスティールからのレイアップが立て続けに決まり、由井がたまたまタイムアウト。その後、逆転に向けて#13を中心に果敢に攻めたり、オールコートプレスを仕掛けたりするも、ちはら台南#7の高さと上手さをいかしたプレーと、時間と点差を考えた全員でのパス回しで追い上げを許さず、63-75でちはら台南が勝利した。大事な場面でシュートを決めきるちはら台南と、最後まであきらめずに戦った由井、両チームの健闘を称えたい試合だった。